

エコアクション21

環境経営レポート

(2019年4月1日～2020年3月31日)

2020年6月1日

株式会社ダイソーフジテック

1. 環境方針

当社は人口が360万人以上の横浜市に拠点を構え、一般廃棄物や産業廃棄物の収集運搬業務、再資源化物の回収・再利用や解体・清掃業務を行っております。将来にわたり健康で豊かな生活を営むために企業活動および社員行動を通じて地域社会の信頼を得られるよう、環境マネジメントシステムを構築・維持し継続的な改善を図るとともに環境保全の向上および汚染の予防に努めます。

環境保全活動に関する基本方針

- ・当社は次世代へより良い環境を残し引き継ぐ使命のもと、資源のリサイクルおよび次の様な項目を環境管理重点テーマとして取り組み、省エネルギー活動を推進していきます。
 1. 運搬車両の燃費効率向上による燃料の削減とCO2削減に努めます。
 2. 電力の使用量の削減に努めます。
 3. 電子マニフェストの導入調査及びテスト運用を行います。
 4. 廃棄物の適正管理に努めます。
 5. 節水による水の使用量の注意喚起を行います。
- ・当社中間処理後の廃棄物の再資源化率向上を目指します。
- ・循環型社会の構築に貢献するためにグリーン購入に積極的に取り組みます。
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律をはじめとする関連法規制を遵守するため、従業員全員に環境に関する教育訓練を行います。
- ・この環境方針は社外へも公開し、一般の人にも入手可能なようにホームページなどにより広く開示します。

平成24年9月12日改定
株式会社グイトーフジテック
代表取締役 藤森 俊明

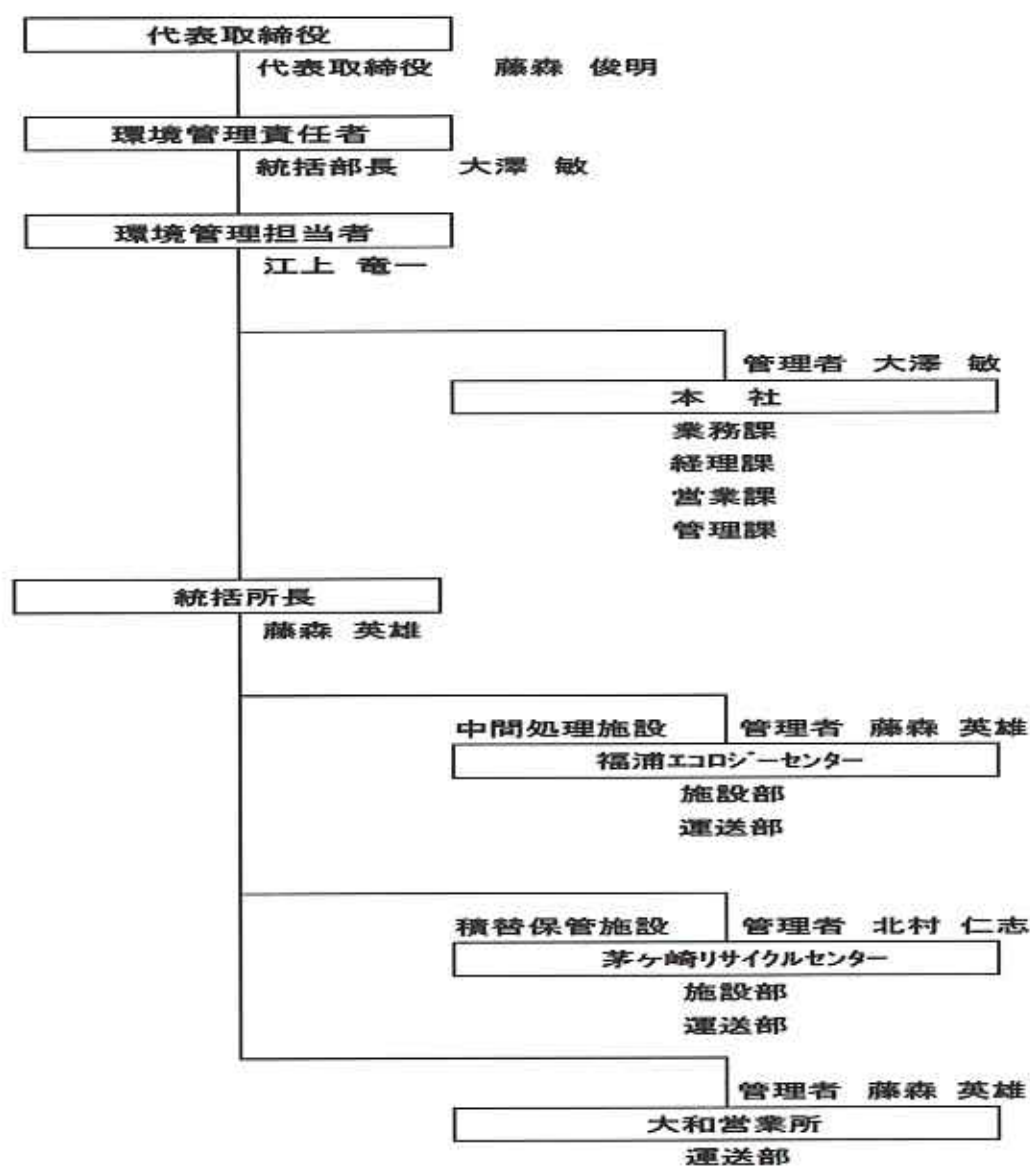
2. 組織の概要に関する情報

2-1. 会社概要

会 社 名	株式会社ダイトーフジテック									
代 表 者 氏 名	代表取締役 藤森 俊明									
法人設立年月日	平成3年12月11日									
資 本 金	1,000万円									
事業所所在地 (認証・登録施設)	[本社] 住所:神奈川県横浜市戸塚区名瀬町553番地 電話:045-814-5131 FAX:045-814-5133 [福浦エコロジーセンター] 住所:神奈川県横浜市金沢区福浦一丁目15番12 電話:045-781-6611 FAX:045-781-3800 [茅ヶ崎リサイクルセンター] 住所:神奈川県茅ヶ崎市芹沢字城ノ腰25番4 電話:0467-54-7341 FAX:0467-52-4228 [大和営業所] 住所:神奈川県大和市上和田1957番地 <table><tr><td rowspan="4">床面積</td><td>本 社</td><td>112m²</td></tr><tr><td>福浦エコロジーセンター</td><td>194m²</td></tr><tr><td>茅ヶ崎リサイクルセンター</td><td>13m²</td></tr><tr><td>大和営業所</td><td>9.5m²</td></tr></table>	床面積	本 社	112m ²	福浦エコロジーセンター	194m ²	茅ヶ崎リサイクルセンター	13m ²	大和営業所	9.5m ²
床面積	本 社		112m ²							
	福浦エコロジーセンター		194m ²							
	茅ヶ崎リサイクルセンター		13m ²							
	大和営業所	9.5m ²								
事業活動の内容	・産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業、リサイクル業 ・産業廃棄物処分業(中間処理) ・一般廃棄物収集運搬業、処理、粗大ごみなど搬出作業 ・解体工事請負業 (ビル、工場及び設備ライン、木造建築物、内装解体など) ・清掃業務請負業 (タンク、ピット、スクラバー清掃、充填材撤去など排水処理設備総合メンテナンス及び特殊清掃作業) ・フロン回収業務 ・廃棄物処理に関するコンサルタント ・廃棄物用コンテナ製造販売									

事業の規模	廃棄物取扱量	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
	産業廃棄物運搬量	11, 204t	12, 458t	14, 312t	9, 767t
	産業廃棄物処分量	5, 089t	6, 416t	7, 319t	7, 472t
	一般廃棄物運搬量	3, 839t	4, 592t	4, 196t	4, 677t
	売上高 ※1	645百万円	682百万円	767百万円	百万円
	解体工事件数	24件	14件	13件	3件 ※2
	従業員数	40人	43人	41人	43人 ※3
※1 売上高については、各年度10月～翌年9月までの期間 ※2 2019年度の解体工事件数については、2019年4月～同年9月までの期間 ※3 従業員数は、2020年3月末時点					
環境管理責任者 氏名及び担当者 連絡先	環境管理責任者:統括部長 大澤 敏 連絡先:電話 045-814-5131 FAX 045-814-5133 e-mail daitofujitec@dft.co.jp URL http://www.dft.co.jp				

2-2. 組織図



株式会社ダイソーフジテック従業員数

人員及び所属	本社	福浦エコロジーセンター	茅ヶ崎リサイクルセンター	大和営業所	総計
正社員	10名	16名	13名	4名	37名
契約社員	0名	0名	0名	0名	0名
パート、アルバイト	0名	0名	0名	0名	2名
派遣社員	0名	0名	0名	0名	2名
所属合計	10名	16名	13名	4名	43名

2020年3月改定

2-3. 産業廃棄物及び一般廃棄物・処理許可内容

産業廃棄物収集運搬

許認可都道府県政令市		東京都	神奈川県	千葉県	埼玉県
許可番号		第1300002090号	第01413002090号	第01200002090号	第01101002090号
許可年月日		2015年6月9日	2017年4月24日	2016年6月13日	2018年8月27日
許可期限年月日		2020年6月8日	2022年3月15日	2021年5月26日	2023年7月4日
業の種類		収集・運搬 (積替保管を除く)	収集・運搬 (積替保管を含む)	収集・運搬 (積替保管を除く)	収集・運搬 (積替保管を除く)
取扱 廃棄物 の 種 類	燃え殻	注3○	注3○	注3○	○
	汚泥	注2・3○	注2・3◎	注2・3○	注2○
	廃油	○	◎	○	○
	廃酸	注3○	注3◎	注2・3○	○
	廃アルカリ	注3○	注3◎	注2・3○	○
	廃プラスチック類	注2○石綿	注1・2◎石綿	注2○石綿	注2○石綿
	紙くず	○	◎	○	○
	木くず	○	◎	○	○
	繊維くず	○	◎	○	○
	動植物性残さ	○	◎	○	○
	ゴムくず	○	○	○	○
	金属くず	注2○	注2◎	注2○	注2○
	ガラスくず及び陶磁器くず	注2○石綿	注1・2◎石綿	注2○石綿	注2○石綿
	鉱さい	注3○	注3○	注3○	○
	がれき類	○石綿	注1◎石綿	○石綿	○石綿
	ばいじん	注3○	注3○	注3○	○
政令13号廃棄物		—	○	—	—

○: 取扱可能な廃棄物

◎: 収集運搬及び積替保管の可能な廃棄物

石綿: 石綿含有産業廃棄物の取扱可能な廃棄物

注1: 石綿含有廃棄物の収集運搬は可能ですが、積替保管は不可能な廃棄物

注2: 水銀使用製品産業廃棄物を含む

注3: 水銀含有ばいじん等を含む

産業廃棄物収集運搬

許認可都道府県政令市		静岡県	山梨県	長野県	群馬県
許可番号		第02201002090号	第01900002090号	第2009002090号	第01000002090号
許可年月日		2014年5月9日	2015年7月11日	2018年6月1日	2016年10月18日
許可期限年月日		2021年5月8日	2020年7月10日	2023年5月31日	2021年10月17日
業の種類		収集・運搬 (積替保管を除く)	収集・運搬 (積替保管を除く)	収集・運搬 (積替保管を除く)	収集・運搬 (積替保管を除く)
取扱 廃棄物 の 種 類	燃え殻	—	—	○	—
	汚泥	○	○	注2○	注2・3○
	廃油	○	○	○	注2○
	廃酸	○	○	○	注2・3○
	廃アルカリ	○	○	○	注2・3○
	廃プラスチック類	○石綿	○石綿	注2○石綿	注2○石綿
	紙くず	○	○	○	○
	木くず	○	○	○	○
	繊維くず	○	○	—	○
	動植物性残さ	○	—	○	○
	ゴムくず	○	—	○	—
	金属くず	○	○	注2○	注2○
	ガラスくず及び陶磁器くず	○石綿	○石綿	注2○石綿	注2○石綿
	鉱さい	—	—	○	—
	がれき類	○石綿	○石綿	○石綿	○石綿
	ばいじん	—	—	○	—
政令13号廃棄物		—	—	—	—

○: 取扱可能な廃棄物

◎: 収集運搬及び積替保管の可能な廃棄物

石綿: 石綿含有産業廃棄物の取扱可能な廃棄物

注1: 石綿含有廃棄物の収集運搬は可能ですが、積替保管は不可能な廃棄物

注2: 水銀使用製品産業廃棄物を含む

注3: 水銀含有ばいじん等を含む

産業廃棄物収集運搬・処分

許認可都道府県政令市		栃木県	茨城県	横浜市	
許可番号		第00900002090号	第00801002090号	第05620002090号	
許可年月日		2016年11月29日	2017年2月2日	2020年1月1日	
許可期限年月日		2021年11月28日	2021年11月28日	2024年12月31日	
業の種類		収集・運搬 (積替保管を除く)	収集・運搬 (積替保管を除く)	中間処分 (破碎・圧縮・溶融)	
取扱 廃棄物 の種 類	燃え殻	—	—	—	
	汚泥	注2・3○	○	—	
	廃油	○	○	—	
	廃酸	注3○	○	—	
	廃アルカリ	注3○	○	—	
	廃プラスチック類	注2○石綿	○石綿	○	
	紙くず	○	○	○	
	木くず	○	○	○	
	繊維くず	○	○	○	
	動植物性残さ	○	○	—	
	ゴムくず	—	○	○	
	金属くず	注2○	○	○	
	ガラスくず及び陶磁器くず	注2○石綿	○石綿	○	
	鉱さい	—	—	—	
	がれき類	○石綿	○石綿	○	
	ばいじん	—	—	—	
	政令13号廃棄物	—	—	—	

○:取扱可能な廃棄物

◎:収集運搬及び積替保管の可能な廃棄物

石綿:石綿含有産業廃棄物の取扱可能な廃棄物

注1:石綿含有廃棄物の収集運搬は可能ですが、積替保管は不可能な廃棄物

注2:水銀使用製品産業廃棄物を含む

注3:水銀含有ばいじん等を含む

特別管理産業廃棄物収集運搬

許認可都道府県政令市	東京都								神奈川県							
許可番号	第 1357002090 号								第 01453002090 号							
許可年月日	2017 年 8 月 5 日								2017 年 4 月 22 日							
許可期限年月日	2022 年 8 月 4 日								2022 年 4 月 21 日							
業の種類	収集・運搬(積替保管を除く)								収集・運搬(積替保管を除く)							
特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等								廃石綿等							
	廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限る)								廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限る)							
	廃酸(pH2.0 以下のものに限る)								廃酸(pH2.0 以下のものに限る)							
	廃アルカリ(pH12.5 以上のものに限る)								廃アルカリ(pH12.5 以上のものに限る)							
	特定有害産業廃棄物(下記の通り)								特定有害産業廃棄物(下記の通り)							
特定有害産業廃棄物	燃え粉	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	鉱さい	ばいじん	燃え粉	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	鉱さい	ばいじん		
アルキル水銀化合物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水銀又はその化合物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カドミウム又はその化合物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鉛又はその化合物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
有機燐化合物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
六価クロム化合物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
砒素又はその化合物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
シアン化合物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PCB	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トリクロロエチレン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テトラクロロエチレン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ジクロロメタン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
四塩化炭素	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1, 2-ジクロロエタン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1, 1-ジクロロエチレン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
シス-1, 2-ジクロロエチレン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1, 1, 1-トリクロロエタン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1, 1, 2-トリクロロエタン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1, 3-ジクロロプロペン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チウラム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
シマジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チオベンカルブ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ベンゼン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
セレン又はその化合物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダイオキシン類	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○: 取扱可能な廃棄物

—: 取扱不可な廃棄物

産業廃棄物中間処分

許認可都道府県政令市	横浜市			
許可番号	第05620002090号			
許可年月日	2020年1月1日			
許可期限年月日	2024年12月31日			
業の種類	中間処理			
処分方法	破碎	圧縮(1)	圧縮(2)	溶融
処理施設能力	22.77t/日	58.15t/日	11.15t/日	0.72t/日
許可品目	廃プラスチック類	廃プラスチック類		廃プラスチック類
	紙くず*	紙くず*		
	木くず*	繊維くず*		
	繊維くず*	金属くず*		
	ゴムくず*			
	金属くず*			
	ガラスくず*及び陶磁器くず*			
	がれき類			

一般廃棄物収集運搬

許認可都道府県政令市	横浜市	大和市
許可番号	第1067号	第218号
許可年月日	2020年4月1日	2020年4月1日
許可期限年月日	2022年3月31日	2022年3月31日
事業の範囲	(1)業の種類	収集・運搬 (積替・保管を除く)
	(2)取扱廃棄物の種類	一般廃棄物

建設業

許可の種類	許可番号	許可年月日	許可期限年月日
とび土工工事業	神奈川県知事 (般-30) 第61939号	2018年8月24日	2023年8月23日
解体工事業	神奈川県知事 (般-30) 第61939号	2018年8月31日	2023年8月30日

フロン充填回収業

許可の種類	許可番号	許可年月日	許可期限年月日	事業の範囲
フロンガス充填回収業	神奈川県許可 神(気水) 第1-464号	2017年4月4日	2022年4月3日	第一種フロン類充填回収業
	東京都許可 13104402	2018年6月24日	2023年6月23日	第一種フロン類充填回収業

2-4. 中間処理施設の内容

中間処理施設情報

施設名	福浦エコロジーセンター			
住所	神奈川県横浜市金沢区福浦一丁目15番12			
責任者	藤森 英雄			
保管施設面積	1,649.92m ²			
処理方法	破碎	圧縮(1)	圧縮(2)	溶融
処理能力	22.77t/日	58.15t/日	11.15t/日	0.72t/日



中間処理フロー



保有施設

0.45バックホー	0.16バックホー	2.5tフォークリフト	3.0tフォークリフト
1台	1台	2台	1台

40t台貫	破碎機	圧縮機	溶融機
1基	1台	2台	1台



中間処理許可品目及び保管量

< 中間処理前の保管 >

廃棄物種類	保管施設	保管面積	最大保管量
廃プラスチックを主とする混合廃棄物	直置き	3.6 m ²	1.8 m ³
ガラス陶磁器くず	ドラム缶	1.00 m ²	0.83 m ³
木くず	コンテナ	6.84 m ²	12.18 m ³
紙くず	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
繊維くず	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
金属くず	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
金属くず	コンテナ	4 m ²	4 m ³
がれき類	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
廃プラスチック類	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
ガラス陶磁器くず	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
がれき類を主とする混合廃棄物	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
ゴムくず	コンテナ	2 m ²	2 m ³
合計保管量			93.50 m ³

< 中間処理後の保管 >

廃棄物種類	保管施設	保管面積	最大保管量
廃プラスチックを主とする破砕物	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
廃プラスチック類	パレット積	4.84 m ²	14.52 m ³
廃プラスチック類	パレット積	4.84 m ²	14.52 m ³
金属くず	パレット積	4.84 m ²	9.68 m ³
繊維くず	パレット積	4.84 m ²	9.68 m ³
紙くず	パレット積	4.84 m ²	9.68 m ³
廃プラスチックを主とする混合廃棄物	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
金属くず	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
がれき類を主とする混合廃棄物	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
ガラス陶磁器くず	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
廃プラスチック類	パレット積	1.6 m ²	4.8 m ³
廃プラスチック類	パレット積	1.6 m ²	4.8 m ³
木くず	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
がれき類	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
ゴムくず	コンテナ	2 m ²	2 m ³
合計保管量			212.57 m ³

2-5. 積替保管施設の内容

積替保管施設情報

施設名	茅ヶ崎リサイクルセンター
住所	神奈川県茅ヶ崎市芹沢字城ノ越 25 番 4
責任者	藤森 英雄
保管施設面積	2,340m ²



許可内容及び保管量

廃棄物種類	保管施設	保管面積	最大保管量
廃油	コンテナ	1. 60 m ²	2. 40 m ³
廃酸	コンテナ	1. 12 m ²	1. 12 m ³
廃アルカリ	コンテナ	1. 12 m ²	1. 12 m ³
汚泥	コンテナ	6. 84 m ²	8. 07 m ³
廃プラスチック類	コンテナ	6. 84 m ²	5. 95 m ³
紙くず	コンテナ	6. 84 m ²	8. 07 m ³
繊維くず	コンテナ	6. 84 m ²	8. 07 m ³
ガラスくず及び陶磁器くず	コンテナ	6. 84 m ²	8. 07 m ³
がれき類	コンテナ	6. 84 m ²	8. 07 m ³
動植物性残さ	コンテナ	8. 74 m ²	7. 50 m ³
木くず	コンテナ	13. 57 m ²	21. 73 m ³
金属くず	コンテナ	13. 57 m ²	21. 73 m ³
ガラスくず及び陶磁器くず	ビット	25. 32 m ²	26. 01 m ³
木くず	ビット	25. 32 m ²	26. 01 m ³
廃プラスチック類	ビット	25. 32 m ²	26. 01 m ³
汚泥※2※3	コンテナ	2. 63 m ²	2. 95 m ³
廃プラスチック類※2、金属くず※2、 ガラスくず及び陶磁器くず※2	ペール缶・ ドラム缶	4. 50 m ²	5. 40 m ³
廃酸※3	コンテナ	1. 00 m ²	1. 00 m ³
廃アルカリ※3	コンテナ	1. 00 m ²	1. 00 m ³
合計	—	—	190. 28 m ³

※2 水銀使用製品産業廃棄物を含む

※3 水銀含有ばいじん等を含む

保有施設

0.45バックホー	1台
2.5tフォークリフト	1台
3.5tフォークリフト	1台
ホイールローダ	1台
40t台貫	1基



2-6. 保有車両

車 種	軽・乗用車	2t車	3t車	4t車	10t車
アームロールコンテナ車		1台	3台	8台	2台
アームロールコンテナ車(ユニック付)				1台	
塵芥車		2台	8台	3台	
平ボディー車		3台		2台	
平ボディー車(ユニック付)				1台	
その他	8台				



2-7. 廃棄物収集運搬実績

(2019年4月～2020年3月)

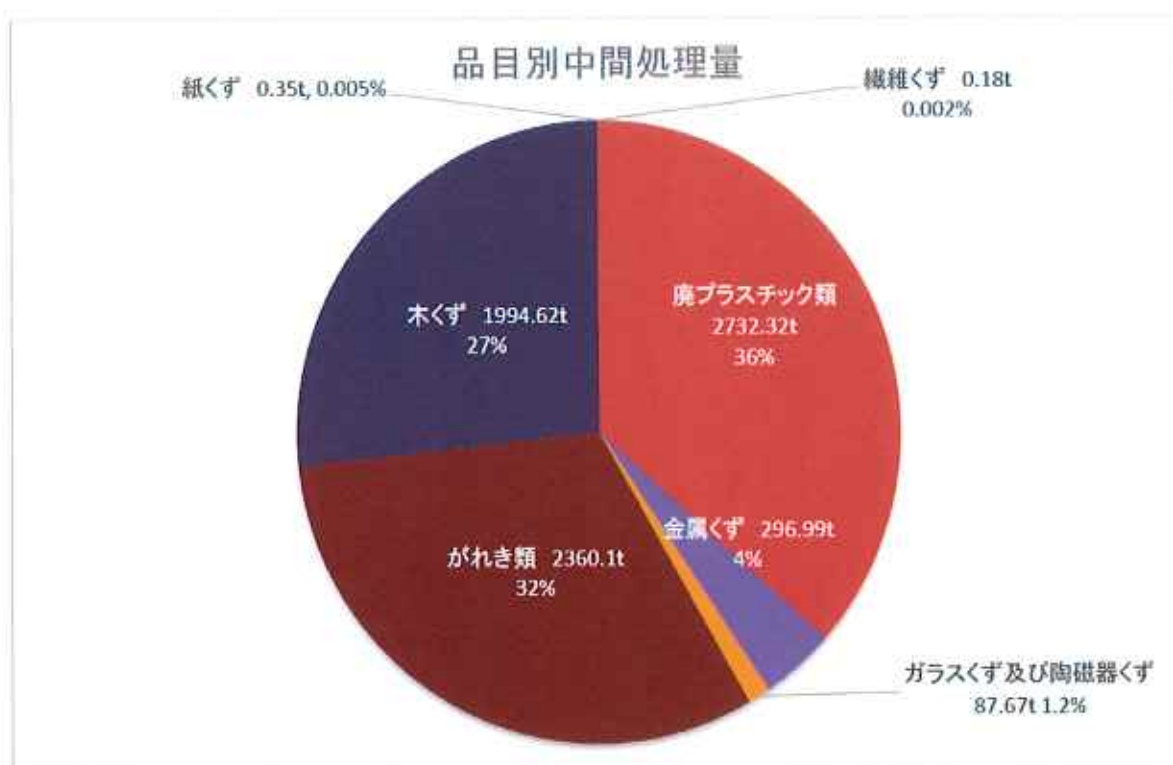
廃棄物の種類	数量(t)
一般廃棄物	4676.75
廃プラスチック類	2824.60
木くず	2021.38
金属くず	314.14
がれき類	2433.36
ガラス陶磁器くず	131.50
廃油	28.92
廃油(特管)	8.73
汚泥	928.66
汚泥(特管)	15.56
動植物性残さ	212.76
石綿含有廃棄物	654.73
紙くず	0.35
廃酸	0.14
廃酸(特管)	1.80
廃アルカリ	0.61
水銀使用製品産業廃棄物	14.81
混合廃棄物	174.52
廃棄物収集運搬量合計	14,443.32



2-8. 産業廃棄物中間処理実績

(2019年4月～2020年3月)

品目	数量(t)
廃プラスチック類	2732.32
金属くず	296.99
ガラスくず及び陶磁器くず	87.67
がれき類	2360.1
木くず	1994.62
紙くず	0.35
繊維くず	0.18
中間処理量合計	7472.23



2-9. 産業廃棄物中間処理後の再資源化実績

(2019年4月～2020年3月)

内訳	品目	処理内容詳細	数量(t)
最終処分	廃プラスチック類	(安定型最終処分場)	244.64
	ガラス・陶磁器くず	(安定型最終処分場)	25.76
	がれき類	(安定型最終処分場)	923.7
最終処分量合計			1194.1
内訳	品目	処理内容詳細	数量(t)
再資源化	廃プラスチック類 (原料)	(原料として再生利用)	220.7
	廃プラスチック類 (燃料)	(原料として再生利用)	2266.98
	木くず	(チップ燃料及びボード原料として再生利用)	1994.62
	金属くず	(製鉄原料として再生利用)	296.99
	がれき類	(路面材として再生利用)	1436.4
	ガラス・陶磁器くず	(原料として再生利用)	61.91
	紙くず	(原料として再生利用)	0.35
	繊維くず	(原料・燃料として再生利用)	0.18
再資源化量合計			6278.13

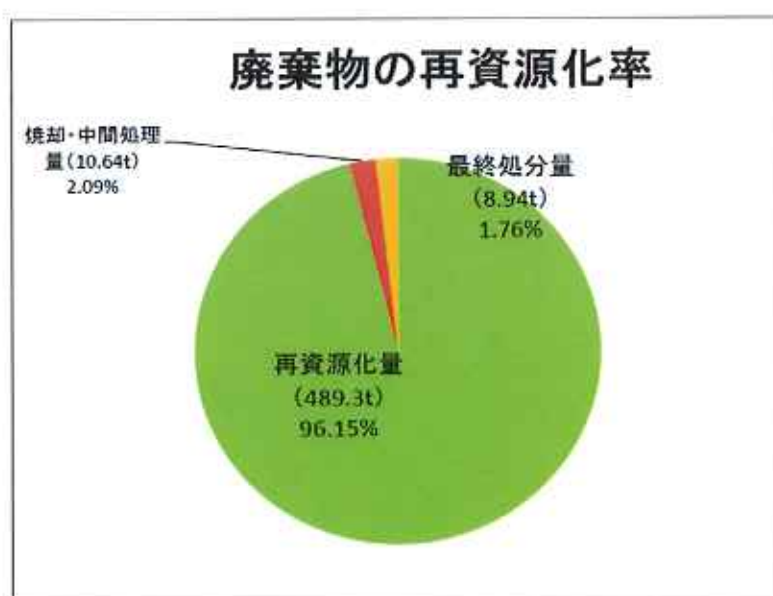


2-10. 廃棄物の排出量実績

単位: (t)

	廃棄物名	2019年4月～2020年3月			合計
		再資源化量	焼却・ 中間処理量	最終処分量	
廃棄物等総排出量	一般廃棄物				
	紙類	0.5121	0	0	0.5121
	缶	0.0138	0	0	0.0138
	びん	0	0	0	0
	ペットボトル	0.0174	0	0	0.0174
	プラスチックごみ	0.054	0	0	0.054
	可燃ごみ	0	0.0835	0	0.0835
	不燃ごみ	0.008	0	0	0.008
	産業廃棄物※1				
	廃プラスチック類	4.86	0	0	4.86
	木くず	34.49	0	0	34.49
	金属くず	0	0	0	0
	がれき類	41.32	0	6	47.32
	ガラス陶磁器くず	2.94	0	0	2.94
	コンクリートガラ	401.05	0	0	401.05
	廃アルカリ	0	9.65	0	9.65
	繊維くず	4.03	0	0	4.03
	廃油	0	0	0	0
	汚泥	0	0.91	0	0.91
	石綿含有廃棄物	0	0	1.5	1.5
	管理型混合廃棄物	0	0	1.44	1.44
	安定型混合廃棄物	0	0	0	0
合計		489.30	10.64	8.94	508.88

※1: 上記産業廃棄物排出量実績は、解体工事及び清掃作業の請負工事にて発生した廃棄物です。



3. 環境経営目標とその実績

3-1. CO₂発生量削減※購入電力排出係数0.531(kg-CO₂/Kwh)

環境経営目標		単位	基準	実績	短期目標		中期目標
			2018年4月～ 2019年3月	2019年4月～ 2020年3月	2019年4月～ 2020年3月	目標達成状況	2021年4月～ 2022年3月
車両 燃費及び 二酸化炭素発生量	本社 燃費平均(ガソリン)	km/L	14.33	15.39	14.47	0.92	14.75
	ガソリン使用量総計(年間)	L	6,723	6,541	6,957	-416	6,825
	CO2発生量総計(年間)	kg-CO2	15,607	15,186	16,152	-966	15,845
	福岡エコジョーセンター 燃費平均(アムロール車・平ボディ車)	km/L	5.40	5.37	5.45	-0.08	5.56
	軽油使用量総計(年間)	L	40,032	36,231	35,699	532	34,993
	CO2発生量総計(年間)	kg-CO2	105,058	95,082	93,686	1,396	91,834
	福岡エコジョーセンター 燃費平均(パッカー車)	km/L	3.96	3.91	4	-0.09	4.08
	軽油使用量総計(年間)	L	39,024	38,238	37,378	860	36,645
	CO2発生量総計(年間)	kg-CO2	102,412	100,350	98,093	2,257	96,169
	茅ヶ崎リサイクルセンター 燃費平均(10t車)	km/L	2.65	2.71	2.68	0.03	2.73
	軽油使用量総計(年間)	L	40,068	38,523	38,954	-431	38,241
	CO2発生量総計(年間)	kg-CO2	105,152	101,097	102,229	-1,132	100,357
	茅ヶ崎リサイクルセンター 燃費平均(アムロール・平ボディ車)	km/L	5.43	5.18	5.48	-0.30	5.59
	軽油使用量総計(年間)	L	36,541	36,482	34,485	1,997	33,806
	CO2発生量総計(年間)	kg-CO2	95,896	95,741	90,500	5,241	88,718
	茅ヶ崎リサイクルセンター 燃費平均(パッカー車)	km/L	4.16	4.34	4.2	0.14	4.28
	軽油使用量総計(年間)	L	7,321	7,569	7,821	-252	7,675
	CO2発生量総計(年間)	kg-CO2	19,213	19,864	20,525	-661	20,142
	大和営業所 燃費平均(パッカー車)	km/L	4.37	4.24	4.41	-0.17	4.5
	軽油使用量総計(年間)	L	25,428	26,213	25,203	1,010	24,698
	CO2発生量総計(年間)	kg-CO2	66,732	68,792	66,141	2,651	64,816

基準のガソリン及び軽油使用量は、昨年度実績による

車両(ガソリン車)の環境経営目標の目標値は、季節分け(春・秋・冬期、夏期の2区分)にて設定

車両(軽油車)の環境経営目標の目標値は、車両ごとに季節分け(春・秋期、夏期、秋期の3区分)にて設定

短期及び中期目標のガソリン及び軽油使用量は、実績に対する比率で算出

環境経営目標		単位	基準	実績	短期目標		中期目標
			2018年4月～ 2019年3月	2019年4月～ 2020年3月	2019年4月～ 2020年3月	目標達成状況	2021年4月～ 2022年3月
二酸化炭素発生量 重機 燃費及び	福岡エコジョーセンター 燃費平均(重機)	AW/L	0.351	0.428	0.353	0.075	0.357
	軽油使用量総計(年間)	L	10,890	9,817	11,903	-2,086	11,769
	CO2発生量総計(年間)	kg-CO2	28,579	25,763	31,238	-5,475	30,886
	茅ヶ崎リサイクルセンター 燃費平均(重機)	AW/L	0.218	0.257	0.22	0.037	0.222
	軽油使用量総計(年間)	L	12,258	10,537	12,309	-1,772	12,198
	CO2発生量総計(年間)	kg-CO2	32,169	27,653	32,303	-4,650	32,012

基準の軽油使用量は、昨年度実績による

重機の環境経営目標の目標値は、年間を通して同一で設定

短期及び中期目標の軽油使用量は、実績に対する比率で算出

環境経営目標		単位	基準	実績	短期目標		中長期目標
			2018年4月～ 2019年3月	2019年4月～ 2020年3月	2019年4月～ 2020年3月	目標達成状況	2021年4月～ 2022年3月
電気 ・ガス ・水 使用量 及び 二酸化 炭素 発生量	本社 電気使用量平均	Kwh	975	970	965	5	965
	電気使用量総計	Kwh	11,265	11,634	11,580	54	11,580
	CO2発生量総計	kg-CO2	5,982	6,178	6,149	29	6,149
	福浦エコロジーセンター 電気使用量平均	Kwh	3,181	2,914	3,150	-236	3,086
	電気使用量総計	Kwh	31,486	34,967	37,800	-2,833	37,032
	CO2発生量総計	kg-CO2	16,719	18,567	20,072	-1,505	19,664
	茅ヶ崎リサイクルセンター 電気使用量平均	Kwh	810	800	802	-2	802
	電気使用量総計	Kwh	10,265	9,602	9,624	-22	9,624
	CO2発生量総計	kg-CO2	5,451	5,099	5,110	-11	5,110
	大和 営業所電気使用量平均	Kwh	53	56	—	—	—
	電気使用量総計	Kwh	631	667	—	—	—
	CO2発生量総計	kg-CO2	335	354	—	—	—
	福浦エコロジーセンター ガス使用量平均	Nm3	24.2	2.7	24	-21.3	23.5
	ガス使用量総計	Nm3	131	32	288	-256.0	282
	CO2発生量総計	kg-CO2	276	67	607	-540	595
	全施設 水使用量平均	m3	63.4	69.9	62.8	7.1	62.8
	水使用量総計	m3	768	838	754	84.0	754

基準の各使用量は、昨年度実績による

電気使用量の環境経営目標の目標値は、季節分け(春・秋期、夏期、冬期の3区分)にて設定

ガス使用量の環境経営目標の目標値は、季節分け(春・夏・秋期、冬期の2区分)にて設定

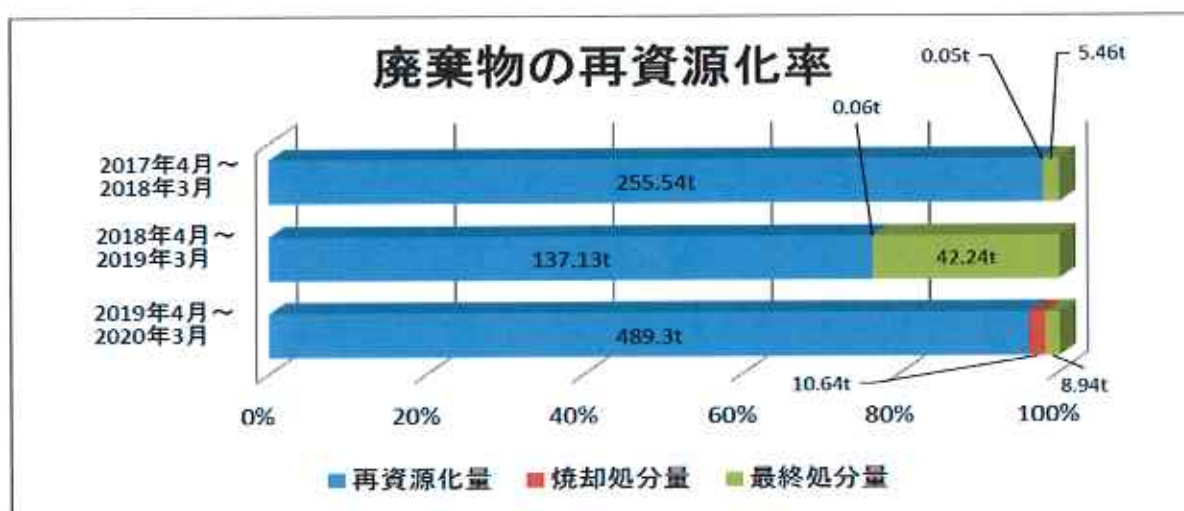
※化学物質については、現在未使用の為削減目標は設定していません。

3-2. 廃棄物排出量削減

当社の産業廃棄物は、多くが解体工事や清掃作業における請負工事から発生する廃棄物のため、請負工事数によって増減するため、目標の設定が難しい。よって排出量削減ではなく、再資源化率の向上を目標として行います。

	廃棄物名	再資源化量	焼却処分量	最終処分量	合 計 (t)
2017年4月 ～2018年3 月	廃棄物排出量	255.54	0.05	5.46	261.05
	廃棄物資源化率	97.89%	0.02%	2.09%	100%
2018年4月 ～2019年3 月	廃棄物排出量	137.13	0.06	42.24	179.43
	廃棄物資源化率	76.43%	0.03%	23.54%	100%
2019年4月 ～2020年3 月	廃棄物排出量	489.30	10.64	8.94	508.88
	廃棄物資源化率	96.15%	2.09%	1.76%	100%

* 1: 上記産業廃棄物排出量実績は、主に解体工事及び清掃作業の請負工事にて発生した廃棄物です。



3-3. 水資源使用量削減

水道使用量は少量のため、節水に関する注意喚起を行います。

(単位: m³)

施設名	2017年4月～2018年 3月まで	2018年4月～2019年 3月まで	2019年4月～2020年 3月まで
	水使用量 合計	水使用量 合計	水使用量 合計
本社	115	100	116.5
福浦エコロジーセンター	381.5	448	509.5
茅ヶ崎リサイクルセンター	247	186	180
大和営業所	18	34	32
全施設	761.5	768	838

4. 主要な環境経営計画の内容と取組み結果の評価 及び次年度の取組内容

主要な環境経営計画の内容		取組み結果の評価 (2019年4月～2020年3月)			
		車両 台数	目標(平均)	実績(平均)	達成 区分
C O 2 削減	燃費向上 (ガソリン) 全営業車 ・エコドライブ実施	4	14.47 km/L	15.39 km/L	○
	燃費向上 (軽油) アームロール車 [福浦管轄] ・エコドライブ実施	7	5.45 km/L	5.37 km/L	△
	燃費向上 (軽油) バックカー車 [福浦管轄] ・エコドライブ実施	8	4.0 km/L	3.91 km/L	△
	燃費向上 (軽油) 10tアームロール車 [茅ヶ崎管轄] ・エコドライブ実施	2	2.68 km/L	2.71 km/L	○
	燃費向上 (軽油) アームロール車・平ボディー車 [茅ヶ崎管轄] ・エコドライブ実施	10	5.48 km/L	5.18 km/L	×
	燃費向上 (軽油) バックカー車 [茅ヶ崎管轄] ・エコドライブ実施	1	4.2 km/L	4.34 km/L	○
	燃費向上 (軽油) バックカー車 [大和管轄] ・エコドライブ実施	5	4.41 km/L	4.24 km/L	×
(取組内容と結果) 1. 勉強会や日々の朝礼・夕礼での意識付けで車の運転に対する取組も変わり、燃費向上を実現出来た(特にアイドリングストップや朝の暖気運転なども時間短縮の傾向が見られた) 2. 初めての場所に訪問する際、事前に地図を確認しており、無駄な時間や燃料消費を抑える事が出来た。 3. 特定の車両で、燃費悪化(夏場のエアコン使用等)、が継続してしまった (課題・今後の方針) 1. エコ運転の意識に個人差が見られる エコ運転の意識レベルの低い運転手への指導を行いエコ運転の実践を促す 2. 新人への教育 3. 車両の不具合や整備点検に対する運転手の知識向上					

○：目標達成 △：目標未達成(3%未満) ×：目標未達成

車両(ガソリン車)の環境経営目標の目標値は、季節分け(春・秋・冬期、夏期の2区分)にて設定

車両(軽油車)の環境経営目標の目標値は、車両ごとに季節分け(春・秋期、夏期、冬期の3区分)にて設定

主要な環境経営計画の内容		取組み結果の評価 (2019年4月～2020年3月)			
		車両 台数	目標(平均)	実績(平均)	達成 区分
C O 2 削減	燃費向上 (重機) [福浦管轄] ・エコドライブ実施	4	0.353 A _W /L	0.428 A _W /L	○
	燃費向上 (重機) [茅ヶ崎管轄] ・エコドライブ実施	3	0.22 A _W /L	0.257 A _W /L	○
・エコドライブを実現出来た ・ユンボのエンジン回転数を上げ過ぎず作業を行う事が出来た					

○：目標達成 △：目標未達成(3%未満) ×：目標未達成

重機の環境経営目標の目標値は、年間通して同一で設定

主要な環境経営計画の内容		取組み結果の評価（2019年4月～2020年3月）			
		目標(平均)	実績(平均)	達成区分	課題・今後の方針等
C O 2 削減	電力使用量削減（本社） ・ 不要照明の消灯 ・ LED 照明の導入	965 kwh	970 kwh	×	・ 応接室で休憩を取る頻度が増え、結果エアコンの使用が増えた ・ 適切な範囲での使用を心がける
	電力使用量削減（福浦） ・ 不要照明の消灯 ・ LED 照明の導入	3,150 kwh	2,914 kwh	○	・ エアコンや照明を使用していない時間帯に消す事が出来た ・ 昨年度、実績に合う適切な目標値を設定
	電力使用量削減（茅ヶ崎） ・ 不要照明の消灯 ・ LED 照明の導入	802 kwh	800 kwh	○	・ 残業を減らす事で作業場水銀灯の使用時間を減らす事が出来た ・ 事務所においても残業時間を減らし、エアコン等の使用を減らす
	CO2 発生量削減（全社） 原単位評価 （廃棄物運搬量）	593,665 Kg-CO2 昨年実績 (18,508 t)	579,996 Kg-CO2 (14,443 t)	×	・ 廃棄物の運搬量が約 4,000t 減っている（約 22%減）にも関わらず、CO2 の発生量は約 2.3%しか減らす事が出来なかった

○：目標達成 ×：目標未達成

電気使用量の環境経営目標の目標値は、季節分け（春・秋期、夏期、冬期の3区分）にて設定

CO2 発生量の目標値は、昨年度の実績に 1%アップ（削減）した値

主要な環境経営計画の内容		取組み結果の評価（2019年4月～2020年3月）			
		目標	実績	達成区分	課題・今後の方針等
水使用量削減（全社） ・ 表示による注意喚起		754 m3	838 m3	×	・ 洗車等で使用量が増加 ・ 使用を必要な範囲で行う
自社廃棄物の再資源化率向上 ・ 分別の徹底		85%	96.15%	○	・ 解体現場の廃棄物をリサイクル処理する事が出来た ・ リサイクル可能な廃棄物の分別を確実にを行い再資源化を進める
中間処理後の廃棄物の再資源化率向上 ・ 仕分け分別の徹底		80%	84%	○	・ がれき類や混合廃棄物の分別を行い再資源化を進める事が出来た ・ 顧客への分別指導を進める事が出来た ・ 新人教育を行い分別の精度アップと作業の時間短縮を図る
グリーン購入		78%	82%	○	・ 社内の備品等、グリーン購入品の使用を進める事が出来た

○：目標達成 ×：目標未達成

主要な環境経営計画の内容	取組み結果の評価（2019年4月～2020年3月）		
	実績内容	達成区分	課題・今後の方針等
電子マニフェストの実運用化	電子マニフェスト運用	△	・一次マニフェストは、引き続き電子の対応と範囲拡大を目指す ・二次マニフェストで、一部電子を利用しての処分場への搬入を実施。拡大を目指す
教育訓練	社員教育実施済み	○	・毎年勉強会を開催し、エコアクション21の取組状況報告や「エコドライブ」に向けての講義を実施

○：目標達成 △：一部達成 ×：目標未達成

【総評】

2019年9月に福浦エコロジーセンターにおいて台風被害に見舞われ、水没により多くの車両が使用不可能となり、免れても整備や点検が必要になる中で従来通りの走行が出来ない（燃費の部分に関して）車両も発生しました。

一方廃棄物の処理においては、顧客への提案や丁寧な分別を行った結果、リサイクル率を目標以上で保つ事が出来ました。

今後は、全体のCO2発生量も念頭において、活動量に見合った消費が実現出来る体制を目指します。



新入社員教育



安全講習



安全講習（外部講師）



消火訓練



エコアクション21活動報告

5. 次年度の取組目標

環境経営目標(2020年4月～2021年3月)

環境経営目標			基準値 (平均)	短期目標 (平均) 燃費1%向上	中期目標 (平均) 燃費3%向上
			2019年4月 ～20年3月	2020年4月 ～21年3月	2022年4月 ～23年3月
車両 燃費向上によるCO2削減	所属	車番			
	本社 (ガソリン)	営業車全車	15.39km/L 0.1509 (kg-CO2)	15.54km/L 0.1494 (kg-CO2)	15.85km/L 0.1465 (kg-CO2)
	福浦 (軽油)	7人乗車・平ボテイ車	5.37km/L 0.4886 (kg-CO2)	5.42km/L 0.4841 (kg-CO2)	5.53km/L 0.4745 (kg-CO2)
		パッカー車	3.91km/L 0.6711 (kg-CO2)	3.95km/L 0.6643 (kg-CO2)	4.03km/L 0.6511 (kg-CO2)
	茅ヶ崎 (軽油)	10人乗車	2.71km/L 0.9683 (kg-CO2)	2.74km/L 0.9577 (kg-CO2)	2.79km/L 0.9405 (kg-CO2)
		7人乗車・平ボテイ車	5.18km/L 0.5066 (kg-CO2)	5.23km/L 0.5017 (kg-CO2)	5.34km/L 0.4914 (kg-CO2)
		パッカー車	4.34km/L 0.6046 (kg-CO2)	4.38km/L 0.5991 (kg-CO2)	4.47km/L 0.5870 (kg-CO2)
	大和 (軽油)	パッカー車	4.24km/L 0.6189 (kg-CO2)	4.28km/L 0.6131 (kg-CO2)	4.37km/L 0.6005 (kg-CO2)

・エコドライブの実施により燃費の向上を目指し、化石燃料の使用量を削減し、CO2発生の削減も行います。

環境経営目標		基準値 (平均)	短期目標 (平均) 0.5%向上	中期目標 (平均) 1.5%向上
		2019年4月 ～20年3月	2020年4月 ～21年3月	2022年4月 ～23年3月
重機 燃費向上によるCO2削減	福浦 (軽油)	0.428AW/L 6.1308 (kg-CO2)	0.430AW/L 6.1023 (kg-CO2)	0.434AW/L 6.0461 (kg-CO2)
	茅ヶ崎 (軽油)	0.257AW/L 10.2101 (kg-CO2)	0.258AW/L 10.1705 (kg-CO2)	0.261AW/L 10.0536 (kg-CO2)

・エコドライブの実施により燃費の向上を目指し、化石燃料の使用量を削減し、CO2発生の削減も行います。

・環境経営目標の目標値は、重機ごとに設定

環境経営目標		基準値 (合計)	短期目標 (合計) 1%削減	中期目標 (合計) 3%削減
		2019年4月 ～20年3月	2020年4月 ～21年3月	2022年4月 ～23年3月
電気使用量削減による CO2削減	本社	11,634Kwh 6177.65 (kg-CO2)	11,518Kwh 6116.06 (kg-CO2)	11,285Kwh 5992.34 (kg-CO2)
	福浦エコリサーチセンター	34,967Kwh 18567.48 (kg-CO2)	34,617Kwh 18381.63 (kg-CO2)	33,918Kwh 18010.46 (kg-CO2)
	茅ヶ崎リサイクルセンター	9,602Kwh 5098.66 (kg-CO2)	9,506Kwh 5047.69 (kg-CO2)	9,314Kwh 4945.73 (kg-CO2)
ガス使用量削減による CO2削減	福浦エコリサーチセンター	32m3 67.47 (kg-CO2)	31.7m3 66.84 (kg-CO2)	31.0m3 65.36 (kg-CO2)

・電気及びガス使用量を削減することによりCO2削減を目指します。※購入電力排出係数0.531 (kg-CO2/kwh)

環境経営目標		基準値 (合計)	短期目標 (合計) 1%削減	中期目標 (合計) 3%削減
		2019年4月 ～20年3月	2020年4月 ～21年3月	2022年4月 ～23年3月
水使用量削減	本社・大和営業所			
	福浦エコリサーチセンター	838m3	829.6m3	812.9m3
	茅ヶ崎リサイクルセンター			

・各施設での使用量は少ないため、全施設合計での管理を行い、水使用量削減を目指します。

環境経営目標		基準値	短期目標 1%向上	中期目標 3%向上
		2019年4月 ～20年3月	2020年4月 ～21年3月	2022年4月 ～23年3月
自社廃棄物の 再資源化率向上 (産廃)	本社	84%	85%	85%
自社廃棄物の 再資源化率向上 (一般)		88%	89%	91%
中間処理後の廃棄物の 再資源化率向上	福浦エコリジ-センター	80%	81%	83%

- ・ 自社発生廃棄物の再資源化率向上及び中間処理後の廃棄物の再資源化率向上を目指します。
- ・ 自社廃棄物（産廃）の目標値は、現状維持にて設定
- ・ 今期より自社廃棄物を産廃と一般に分けて目標設定を実施します。

環境経営目標	取組内容
電子マニフェストの実運用化 (本社)	電子マニフェストシステムの実運用化を行います。 当社中間処理後廃棄物の二次マニフェストについても一部に留まる電子化の範囲拡大を目指します。
教育訓練 (全社)	社員教育及び緊急対応訓練を実施して、廃棄物に関する法律や、廃棄物に関する知識の向上を目指し、緊急時に適切な行動が出来るような教育を行います。

6. 環境関連法規への違反、公訴等の有無

環境関連法規への違反はありません。
なお、関係当局よりの違反等の
指摘は過去3年間ありません。



7. 代表者による全体見直しと見直しの結果

2019年度は、誰が見ても分かるデータ作りを目指して活動を行ってきました。

その主な改善点として、今まで車両ごとに細かいデータ作りを行っていたものを今期は車種ごとにまとめて管理してきました。

1台ごとの燃費悪化では「私は乗っていない」と興味を示さなかった内容でもバックカーやアームロールの燃費悪化というワードに対しては、関わりを感じ改善について興味を持って接してくれました。

一方、まだまだ意識の低いドライバーもあり、燃費改善が進んでいない現状も見受けられました。

会社全体で取り組んでいける様に伝達方法も含めて改善していきます。